

3 学期始業式校長の話

令和3年1月7日

- あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。
- 昨年の年末は、課外授業が突然、21日で終わりとなり、部活動もできなくなるなど、大変な年末でした。
皆さんは、多くのストレスや心配を抱えながら年末・年始を過ごしていたことと思います。
- しかし、この状況を嘆いても仕方ありません。嘆くばかりでは何も生まれません。
- 例えば、課外授業がなくなって大変だ、どうしようと焦るのではなく、自分の好きな勉強を、自分なりに工夫しながらできる良い機会だと捉えることもできます。もしかして、この冬休みはじっくりと一つ一つの課題に向き合える時間ができたかもしれません。
- 何事も、プラスの方向に考えてほしいと思います。
- 3学期が始まるに当たって一つだけ話をします。
- この冬休み期間中、私はユヴァル・ノア・ハラリの「ホモ・デウス」を読みました。
ユヴァル・ノア・ハラリは、その著書が世界的なベストセラーになっているので、皆さんの中にも読んでいる人がいるかもしれません。
- 彼は著書の中で次のように述べています。
- 人間が優れているのは、「想像力 (imagination) を持っていること」と「集団の中で柔軟性を持ってお互いに協力できること」だと言っています。この二つの能力により人間は進化・発展し、様々な偉大なことを成し遂げてきたのです。
- 今から約4500年前に作られた古代エジプトのピラミッドは、宇宙人や超能力者が作ったものではありません。人間の「想像力」と「柔軟性のある協力」によりできたと言っても過言ではないのです。
- 彼の考えに私も「なるほど」と思いました。
- エジプトのピラミッドはあまりにも偉大すぎる例ですが、私たちの日常生活は、皆さんの「想像力」と「柔軟性を持った協力」に満ちあふれていると思います。
- 例えば、皆さんの学校生活に当てはめてみれば、「自分の希望の大学に合格できれば、バラ色の人生が待ち受けているだろう」とか「これだけ毎日部活動できつい練習をすれば、きっと次の大会では優勝することができるだろう」と想像することができます。
また、「文化祭のクラスの出し物を制作していたが全て壊れてしまい、急遽、新たな出し物をみんなで協力して制作した」とか「先生方やクラスの友人の協力のお陰で大学に合格できた」などと言えると思います。

- この想像力は夢や希望と置き換えて良いのもしれません。夢や希望があるから、何かを一生懸命にやってみようと言うモチベーションにつながるのです。
- そして、集団の中で生活をする我々人間は、どんな困難に直面したとしても、お互いに柔軟に協力しながらその困難を克服していけるのです。
- コロナ禍で大変な時だからこそ、私自身も、この「想像力と柔軟な協力」を大切にしたいと皆さんと学校生活を送りたいと思っています。皆さんも、私の考えに賛同できるならば、送ってみてください。
- 以上で、校長の話を終わります。
- 今年一年が、皆さん一人ひとりにとってより良い年となることを願っています。